

**生産・環境生物学専攻**  
**修士課程（一般選抜、社会人特別選抜） 入試案内**

この入試案内は、令和8(2026)年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項を補足するものである。

<A日程>

1. 出願期間

令和7(2025)年6月18日(水)10時から6月24日(火)17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

なお、令和7年4月19日(土)13:00よりA日程入試ガイダンスをオンラインで実施する。

2. 筆記試験

(1) 外国語(英語)

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

提出方法は募集要項「7. 外国語(英語)試験について」を参照のこと。公式スコアレポートの研究科への送付手続きを必ず行うこと。オンライン上でスコアが確認できない場合はスコアが無効となるので注意すること。

(2) 専門科目

出願時に、1) 栽培学、2) 植物分子遺伝学、3) 育種学、4) 植物病理学、5) 応用昆虫学、6) 作物学、7) 園芸学、8) 昆虫遺伝・病理学、9) 生物測定学の9科目の中から2科目を選択すること。ただし、試験当日に出願時に選択した以外の科目を選択することも可とする。

試験は対面での筆記形式(日英併記で出題)で実施する。

3. 口述試験

試験はオンラインで実施する。

4. 試験期日

専門科目：令和7(2025)年8月7日(木)

口述試験：令和7(2025)年8月8日(金)～8月15日(金)のいずれかの日

試験時間その他の詳細は、令和7(2025)年7月上旬に送付する受験者心得などで通知する。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～ケを提出すること。(「コ 専攻が提出を求める書類」は特になし)

6. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和7(2025)年10月入学を希望できる。希望者は、

募集要項「10. 提出書類」の「ケ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

## 7. その他

### (1) Web出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員名は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ第3志望まで、専門分野と教員名を入力すること。第1～第3志望欄に、異なる専門分野の教員を入力すること。どうしても第2、第3志望がない場合は、入力しなくてよい。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③専門科目欄には受験する科目名（2科目）を必ず入力すること。未入力の場合は、出願書類不備として取り扱う。

④履歴事項は大学卒業（見込み）までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること。

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(2) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出願前に必ず第1志望の教員へ連絡を取ること。

(3) 過去問題の入手先は、研究科ホームページまたは募集要項内の案内を参照すること。

(4) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、生産・環境生物学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(5) 当専攻の入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。

## <B日程>

### 1. 出願期間

令和7(2025)年11月20日（木）10時から11月26日（水）17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

なお、令和7年10月頃にB日程入試ガイダンスをオンラインで実施する予定である。

### 2. 筆記試験

#### (1) 外国語（英語）

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 外国語（英語）試験について」を参照のこと。公式スコアレポー

トの研究科への送付手続きを必ず行うこと。オンライン上でスコアが確認できない場合はスコアが無効となるので注意すること。

## (2) 専門科目

出願時に、1) 栽培学、2) 植物分子遺伝学、3) 育種学、4) 植物病理学、5) 応用昆虫学、6) 作物学、7) 園芸学、8) 昆虫遺伝・病理学、9) 生物測定学の9科目の中から2科目を選択すること。試験当日の科目変更はできない。

試験はオンラインによる筆記形式（日英併記で出題）で実施する。

(注) 出願者数によっては、TOEFL スコア、小論文等に基づく事前選抜を行う可能性がある。その場合は、出願後に小論文の追加提出を課す予定である。詳細は受験者心得または専攻からのメール連絡で通知する。

書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。

## 3. 口述試験

試験はオンラインで実施する。

## 4. 試験期日

筆記試験・口述試験を令和8(2026)年1月29日(木)～2月6日(金)に実施する。

試験日時その他の詳細は、B日程入試ガイダンスおよび令和8(2026)年1月上旬に送付する受験者心得などで通知する。

## 5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～コを提出すること。「コ 専攻が提出を求める書類」については、以下の書類を期日までに提出すること。

卒業論文研究 またはこれに 代わるものの 要旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一般選抜出願者は提出のこと</li><li>・ 書式は自由。A4サイズで1ページ以内</li><li>・ 提出期限：令和8(2026)年1月末</li><li>・ 送付先：aeb-chief@ab.a.u-tokyo.ac.jp</li></ul>
----------------------------------	--

## 6. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和8(2026)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「ケ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

## 7. その他

### (1) Web出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員名は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ第3志望まで、専門分野と教員名を入力すること。第1～第3志望欄に、異なる専門分野の教員を入力すること。どうしても第2、第3志望がない場合は、入力しなくてよい。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③専門科目欄には受験する科目名（2科目）を必ず入力すること。未入力の場合は、出願書類不備として取り扱う。

④履歴事項は大学卒業（見込み）までを入力すること。また、社会人特別選拔出願者は職歴を入力すること。

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(2) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出願前に必ず第1志望の教員へ連絡を取ること。

(3) 過去問題の入手先は、研究科ホームページまたは募集要項内の案内を参照すること。

(4) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、生産・環境生物学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(5) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。